

# 勿凝学問 369

第2次世界大戦とNHS  
しばらくぶりの映画 SiCKO もの

2011年6月27日  
慶應義塾大学 商学部  
教授 権丈善一

先週、信濃町と三田で、SiCKO の権丈カット版？をみた。他の箇所はどんなだったっけ  
と思って、家で眺めていたら、次のシーンが記憶に残る。

マイケル・ムーアとイギリスの政治家トニー・ベンの会話——経済政策の視点から、そ  
して政策形成過程を考える上でも、かなり意味のあるものかもな。

マイケル・ムーア

英国の全国民に医療保険をとという発想は、いつ頃から？

トニー・ベン

・・・

国民は言った、

「1930年代には、大量の失業者が出たが、戦争中は出なかった。  
戦争で完全雇用ができるなら、病院や学校を建ててもできる。  
看護師や先生を雇え、人を殺す金があるなら、人を助ける金もあるはずだ。」

この小冊子に明確に書かれてる。

1948年だ。7月5日、NHSが発足。

「皆さんに医療・歯科・看護のすべてのケアを提供。

収入にかかわらず老若男女誰でも利用できます。

特別事項を除いてすべて無料

審査も必要ありません。

ですが慈善事業ではなく主に税金が財源です。

皆さんは費用の心配なく、医療を受けられます」

この短い説明がすべてを言い表している。

マイケル・ムーアのナレーション

僕は、1948年に発足という点に驚いた。

英国は第2次大戦後、荒廃していた時代だ。

国土は破壊され、経済は破綻。何もかも失った。

8ヶ月という期間に、4万2,000人以上の民間人が死亡。

僕らが体験した、9.11の2時間を彼らはほぼ毎日体験した。

9.11後の気持ちを覚えてるか？

皆で励まし合った。

同じじゃないか？

大戦後に皆で励まし合った気持ちが、国民全員の無料医療につながった。

以上